

## レッドチームの編成

### 組織の現実の 攻撃に対する 耐性を評価する

脆弱性はそれ自体では小さく見えても、まとめて攻撃経路を形成すると大規模な損害を引き起こす可能性があります。シノプシスのレッドチーム（模擬攻撃チーム）は、現実の敵がシステムを攻撃する方法やシステムが攻撃にどの程度耐えられるかをモデル化します。システムのセキュリティ評価だけでなく、シノプシスのレッドチーム・プロフェッショナル・サービスでは、お客様の組織のインシデント対応手順もテストします。レッドチームによる演習が完了すると、定義された一連の資産を攻撃する特定の脅威アクターに対応する組織のセキュリティ体制に対する理解が向上し、重点的に取り組むべき改善ポイントが分かります。

### 悪用可能なセキュリティ・ホールを探し出す

シノプシスのレッドチームは、別々に見えたり、複数の領域にまたがった脆弱性をつなぎ合わせ、さまざまな複雑な攻撃手法を駆使して、組織の攻撃・サーフェス全体で悪用可能なセキュリティ・ホールを即座に特定します。これには、システム、ソフトウェア、人員の間関係も含まれます。探し出すリスク領域には以下のようなものがあります。

- 従業員のワークステーションやネットワーク共有上にある個人識別可能情報（PII）、プライマリ・アカウント番号（PAN）、保護されるべき医療情報（PHI）
- ログファイルに記録された機密データ
- レポート・ダッシュボードのマスクされていないデータ
- ソースコード中の暗号鍵

### 組織として攻撃への準備はできていますか

シノプシスの攻撃プロセスは、一見別々に見える脆弱性をつなぎ合わせ、アプリケーション、ネットワーク、チームの挙動を総合的にとらえます。各レッドチームの評価は、体系的かつ反復可能な方法論的手法を採用し、以下の6つの基本手順で構成されます。

#### 1. 目標設定

レッドチームの攻撃対象となる特定の目標または資産を設定します。

#### 2. 偵察

レッドチームによってネットワークサービス、Webアプリケーション、従業員ポータルが洗い出されます。

言い古された質問に答える。自社のリスクとは何か。

### 3. ペネトレーション・テスト

アプリケーションとネットワークに関するペネトレーション・テストを実施し、脆弱性を明らかにします。(例えば、クロスサイトスクリプティング)

### 4. ソーシャル・エンジニアリング

レッドチームは、一般的な人的操作手法（メールや電話によるフィッシングなど）を利用し、「人的な脆弱性」（無意識のうちに自社の機密情報を漏らす人）を見つけ出します。

### 5. エクスプロイトとエスカレート

発見した脆弱性の1つを使ってネットワーク内部へ侵入します。これは、物理的な設備への攻撃だったり、ビジネスプロセスの改ざんの場合もあります。例えば、追従侵入や従業員や業者へのなりすましによって実際の職場に侵入します。

### 6. 目標達成

レッドチームが機密性の高い企業資産へのアクセスに成功します。

### 7. 修正

各評価の最後に、適切な組織のステークホルダーとともに、診断中に発見された脆弱性のレビューを行い、各脆弱性に関する質問に回答し、リスク緩和や修正に関する戦略のディスカッションをします。

セキュリティに対してどこに時間と  
予算、労力を重点的にかけるべきかを  
レッドチームが明らかにします。

## シノプシスの特色

シノプシスは、お客様のセキュア開発ライフ・サイクル (SDLC) とサプライ・チェーンにインテグリティ（セキュリティと品質）を組み込むための極めて包括的なソリューションをご提案します。最先端のテスト技術、自動解析、エキスパートが一体となって、堅牢な製品およびサービスのポートフォリオを構成しています。このポートフォリオを利用してプログラムをカスタマイズすることで、開発プロセスの初期段階での不具合や脆弱性の検知および修正が可能になり、リスクを最小化しつつ生産性を最大化できます。シノプシスは、アプリケーション・セキュリティ・テストのリーダーとして認められており、IoT、DevOps、CI/CD、クラウドといった新しいテクノロジーやトレンドにベスト・プラクティスを適用できる独自の地位を確立しています。テストが終了しても、終わりではありません。オリエンテーションから展開の支援、的を絞った修正の手引き、さまざまなトレーニング・ソリューションまでを提供することで、お客様の投資を最大限に有効化します。まだ対策を始めたばかりか、あるいはすでに着実に進めつつあるかを問わず、シノプシスのプラットフォームを利用することで、ビジネスを推進するアプリケーションのインテグリティを確保できます。

詳しくは、[www.synopsys.com/jp/software](http://www.synopsys.com/jp/software) をご覧ください。

日本シノプシス合同会社 ソフトウェア インテグリティ グループ  
〒158-0094 東京都世田谷区玉川 2-21-1 二子玉川ライズオフィス  
TEL: 03-6746-3600

Email: [sig-japan-sales@synopsys.com](mailto:sig-japan-sales@synopsys.com)  
[www.synopsys.com/jp/software](http://www.synopsys.com/jp/software)